

PassPort

佐賀市男女共同参画情報誌
ぱすぽーと

vol.37 2017 SPRING

男らしさ、女らしさにとらわれず、自分らしく暮らせる社会。お互いに認め合い、個性と能力を発揮できる佐賀市の実現をめざしましょう。

ひとひと 女・男フォーラム開催!



第12回一言メッセージ表彰式



こいさがしイベント報告



男女共同参画推進協賛事業所紹介!

カエル! ジャパン
Change! JPN



日本女性会議2016秋田参加報告



日本女性会議
2016秋田

◆C·O·N·T·E·N·T·S◆

- 女・男フォーラム「LGBTって何だろう！？」
- 一言メッセージ表彰式
- 今こそワーク・ライフ・バランス！
- 佐賀市出会い創出・応援事業(こいさがしイベント)を開催しました！
- 日本女性会議2016秋田参加報告

p1~2

p3~4

p5

p6

p7

平成28年度 女・男フォーラム

テーマ LGBTって何だろう!?

開催日：平成29年1月29日(日)
会場：佐賀市立図書館

LGBTとは(L:レズビアン、G:ゲイ、B:バイセクシュアル、T:トランスジェンダーをそれぞれ頭文字で示した語。いわゆる「性的マイノリティ(性的少数者)」を総称した表現として扱われることが多い)

- ◆好きになる相手の性別が「異性だけ」ではない方
- ◆身体の性別にそって指定された社会上の性別と、自認する性別が一致しない方

第1部 基調講演

テーマ：多様な性を生きる人々 知っていますか？ LGBT



講師：五十嵐 ゆりさん
(NPO法人Rainbow Soup代表、NPO法人虹色ダイバーシティ・東京スタッフ)
2012年に当事者の仲間とともに民間団体Rainbow Soup(レインボースープ)を発足。2015年3月にNPO法人化し、レズビアン当事者としてカミングアウト。現在では、LGBT等セクシュアルマイノリティをテーマにした講演、研修、執筆活動中。

LGBTに関する適切な情報を知ることが大切です

当事者は、ライフステージの様々な状況で困難を抱えています。学校や職場でいじめやからかいを受けている人もいます。周りから典型的な「男らしさ」「女らしさ」を押し付けられたり、今もなお残る偏見や無理解によって、「自分は異常なのだ」と強いストレスを抱えがちです。

日本では、同性カップルは法的に保障されていないため、相続や共有財産など、もしもの時に困難に直面しています。私自身としては、同性婚が合法化されていない現状で、このまま一人で年老いて何かあつたらどうしようという漠然とした不安を持っています。

当事者の健康リスクが高いことも見逃せません。ばれることへの不安、隠し続けるプレッシャーなどから、うつを発症する割合が高く、見た目と自認する性が違うことで公共のトイレに入りづらく、排泄障がいを患うトランスジェンダーもいます。また海

外に比べて日本は、戸籍上の性別変更の要件がたいへん厳しく、国際的に批判を受けています。

しかし社会の認識や当事者の意識は少しずつ変化しており、LGBTに対する配慮や適切な知識がないために、裁判に至ってしまうケースが出てきています。

LGBTへの理解や取組が広がっています

世界では、北京、ロンドン、リオ五輪とLGBTの当事者であることをカミングアウトできる選手が増えています。

欧米の企業の間では、「LGBTをサポートします」と表明することが企業にとってプラスになるとの認識が広がっています。テレビCMでも、同性カップルが登場するようになりました。

日本でも、相談窓口の設置や人事部の研修、福利厚生で同性パートナーを配偶者扱いするなど、LGBT対応に取り組む企業がどんどん増えています。

携帯大手三社は、いずれも家族割を同性パートナーに適用しています。また、生命保険では、死亡保険金を同性パートナーが受け取ることができるといった商品が登場しています。

あなたもぜひLGBTの理解者・支援者(アライ)になってください

もしカミングアウトされたら落ち着いて受け止めて「伝えてくれてありがとう」と言って貰うれば十分です。完璧な対応ができるかな…と心配する必要はありません。カミングアウト後も、と変わらない態度でしてくれるだけで心強い気持ちになります。頭ごなしに否定したり拒絶したりしないで、落ち着いて話を聞いてあげてください。

ただ、本人の了解なく、第三者に伝えることは絶対に控えてください。

理解者のサインである6色のレインボーのシールやグッズを身につけるなど、できることからやってみてください。



第2部 パネルディスカッション

LGBT当事者とアライ(支援者、理解者)による支援・啓発活動の報告

パネリスト

五十嵐 ゆりさん

(NPO法人Rainbow Soup代表、NPO法人虹色ダイバーシティ・東京スタッフ)

今坂 洋志さん

(ともに拓くLGBTIQの会くまもと 代表)

原 亮さん

(佐賀LGBT支援団体AO*AQUA 代表)

コーディネーター

吉岡 剛彦さん(佐賀大学教育学部准教授)

【今坂さん】

支援活動をする中で、当事者にとって、自分達のことを話し合える場というのはとても大事だと思っています。



偏見に気づいたり、LGBTの感覚が一般的になるためにも、色々な方が色々なところでLGBTのことを話したり考えたりする会などをやっていただけだと嬉しいです。また、会を企画する方と決裁する方の両方に理解者がそろつた時はスムーズに運営ができると感じています。

LGBTの啓発活動をしていると、異性愛が別扱いされているような感覚になるといった別の問題もあります。やはり、性は多様であるのが普通であるという感覚が社会の中で風土としてできあがつていけばいいなと思います。

【原さん】

団体を立ち上げたきっかけは、佐賀でLGBTの支援団体がなくて、相談する場所もなくて、ちょっと生きづらいなという思いがずっとあったからです。



佐賀で活動していますが、これまで、一般の方が誰でも入れるようなところで話をさせていただく場がありませんでしたし、多くの人が話を聞きに来てくださっていることが嬉しいです。当事者の方が生きやすい社会への第一歩になればと思っています。

佐賀は、都会よりも地域コミュニティが強く、カミングアウトしてしまうと近所の人に知れ渡ってしまうのではないかという不安が大きくて、カミングアウトをする人が少ないと思います。僕も普通に佐賀に住み、学校に通って、アルバイトもしています。普通にみんなの周りにいるのだということを少しでも分かっていただき、こういう話を聞いたことを発信していただけたら嬉しいです。

【五十嵐さん】

最初のカミングアウトの相手がどう受け止めてくれたかで、その後の人生が大きく変わらるような気がします。「応援するよ、大丈夫だよ」というサインを出したり、LGBTに関するポジティブな話題を何気なく言ったり。そうした皆さんのが何気ない行動が積み重なっていく、社会が少しずつ変わっていていいなと思います。

どうしても気持ち悪いと思う人もいると思います。ですが、「いじめたり笑ったりすることは不適切だよ」という周りからの声掛けや、当事者と触れ合う機会を通じて、嫌悪感を持っている方たちが変わっていくといいなと思います。

【吉岡さん】

多数派の異性愛者は通常カミングアウトしません。他方、LGBTの人たちは、差別を恐れて自分の性自認や性的指向を周囲に打ち明けられないことが多いのですが、そのために「自分を隠したり嘘をついている」と苦悩を感じてもいます。多数者側の責任を強く感じます。



「色々あるよ、あっていいし、あってもあなただからと認めていく」といったメッセージを、それぞれの持ち場で発信していきたいと私も改めて感じました。

参加者の声

●今日初めてLGBTの話を聞く事ができて良かったです。もっと、もっと広めていけば良いと思いました。

●無理にカミングアウトする必要はなく、自然でいいからいいと思う。偏見が少しでもなくなるように協力していきたい。

●思った以上に年配の方が多く、たくさんの人々が性の多様性に興味・関心があるのだと感じました。佐賀という閉鎖的だと思っていたコミュニティで、多様な人々の理解の兆しを実際に感じ、純粋に嬉しく思いました。もっともっと、定期的に開催してもらいたいです。

講演を聴いて

近年、LGBTに関する認知度は高まりつつありますが、やはり、偏見があるのは、身近に感じておらず、知識がないからだと思います。今後、アライが増え、すべての人が、自分らしく堂々と胸を張って生活できる社会の実現に向かって、LGBTに関する理解を深めていくよう行政、企業、学校など、社会全体で取り組む必要性があると感じました。(編集委員 平川恵里)

平成29年2月4日(土)

第12回 一言メッセージ表彰式が開催されました

男女共同参画をめざすなかで、家庭、職場、学校、地域などで抱く「感謝の気持ち」や「おやつと思うこと」「ちょっと気になるなあという思い」を表したメッセージを募集しました。2,783件の応募作品の中から入賞された作品を紹介します。受賞者のみなさん、おめでとうございます。(学年は平成28年度現在)

主催：佐賀市男女共同参画ネットワーク



子どもの部 最優秀作品

こら、せんかーじゃなくて、いっしょにしようよ

おとうさんへ 諸富北小1年 西原 千陽

おとうさんといっしょに漢字の宿題をしたいと思って、このメッセージを書きました。普段は柔道を教えてくれるおとうさんが大好きです。



大人の部 最優秀作品

互いを気遣い50年!二人はとっても似ています。 そんな夫婦に私もなりたい

金婚式を迎えた両親へ 田中 みさ子

両親は、お互いを見守る時のまなざしが似ています。これからも夫婦そろっていつまでも元気でいてほしいです。



学校賞

芙蓉小学校 龍谷中学校 佐賀大学教育学部附属中学校 牛津高等学校

男女共同参画紙芝居ができました!!

男女共同参画ネットワーク
“結い”ニュース!!

「佐賀市男女共同参画ネットワーク（結い）」は、これまでの劇団「おとめ座」の寸劇での啓発活動に加えて、紙芝居での啓発にも取り組まれます。

一言メッセージ表彰式の冒頭で、九州労働金庫の協力を得て制作した紙芝居「けんちゃんのランドセル」と「やりたいこと」が披露されました。

この紙芝居を使って小学校や公民館で、子どもや高齢者にも優しくわかりやすい啓発活動ができたとのことでした。

紙芝居はこれからも、あらゆる場面を想定して増やしていく予定だそうです。

こども・高校生の部

大人の部

◎藍染未来工房 賞

反抗期でけんかばかり。それでも寝ていた母に毛布かけてくれるね。ありがとう。
お母さんへ 鍋島中1年 古川みやこ

◎板前割烹 香光 賞

髪に白いものを見つけました。傍らに居るのに、そんなことにも気づけてない。
妻へ 高添 末広

◎北島マルボーロ 賞

ほんの少しの手助けに「ありがとう」の言葉と微笑みで心の中もほっこりとなり。
老人会のお仲間へ 原 京子

◎(株)佐賀花市場 賞

ありがとう。簡単に言えずに日々反省。有り難い妻を大切にします。
妻へ 山下 正俊

◎JAさが中部地区 賞

週ごとに家の役割変える夫婦のタッチサン。夫婦互いに 牟田口國彦

◎サガ・ビネガー 賞

いつも元気で居てくれるだけでいいです。だから健康診断受け下さい。
病院嫌いの妻へ 荒木 明光

◎晴寿園 賞

いつかは寄る老老介護。これまで歩いた二人三脚でやりましょうね。お父さん
夫へ 嘉村ミツヨ

◎のり道楽 賞

あれから1年、歩ける、掴める、話せる!リハビリよく、頑張りましたね!その調子!!
麻痺から元気になった父へ 松永 千栄

◎肥前びーどろ 賞

「だいじょうぶ」そんな気持ちになれるのはいつもあなたの傍にいるから
夫へ 角本 久子

◎古湯温泉鶴靈泉 賞

四十年間お疲れ様でした。退職後の楽しみと一緒にみつけていきましょうね。
退職する妻へ 山口 正彦

◎ピューティック二葉 賞

実家の物置で父から母へのラブレターを発見。これからも仲良くなれ。
両親へ 江藤 咲月

◎ホテルニューオータニ 賞

社会人2年目の東京。もう慣れた?「仕送りするまで死ぬなよ。」の言葉、私の宝物です。
東京へ就職した次男へ 永野 篤子

◎村岡屋 賞

夫婦の寿命つきまるまで 春夏秋冬あなたの家事手伝いに感謝♡
夫へ 福島 幸子

◎森の香 菖蒲ご膳 賞

「ご飯できてるよ。早く帰っておいで。」暗くなったら時々届くメールにホロリ。
夫へ 黒田まゆみ

◎大和酒造 賞

まいたな「あれ・これ・それ」で通じてる 会話にはなってないけど、結構あわせ
夫へ 浦川千代美

◎理研農産化工 賞

やそじ 登り始めたぞ。八十歳坂。さあさあ、母さんよ。右手で杖もて、左手こっち。
爺より。婆ちゃんへ。久野 久義

◎理研農産化工 賞

「できたよ!」彩り豊かな夕食に 微笑み返しの「腕上げたね」 ありがとう 我が家の シェフ!
ルビー婚を迎えた夫へ 東島 邦子

◎理研農産化工 賞

会釈をして渡る横断歩道。朝の混雑時でも、優しい気持ちになるよ。
城南中の生徒へ 山口 真美

■表彰式に参加して

多くのほほえましい作品に気づかされることも
多く、心が温かくなりました。会場は和やかな
雰囲気に包まれ、ほっこりと素敵な表彰式でした。
(編集委員 草場栄美)

今こそワーク・ライフ・バランス!

ワーク・ライフ・バランスは、社員のための福利厚生的な取組と誤解されがちですが、企業の体质強化につながる取組です。

ワーク・ライフ・バランスとは?

仕事と生活の充実と調和がとれ、相乗効果が現れている状態をいいます。ワーク・ライフ・バランスが実現した社会では、以下の①②を、自ら希望するバランスで展開できます。

①やりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす

②家族、地域生活、自己啓発など、大切にしたいことに時間とエネルギーを注げる

ワーク・ライフ・バランスの経営的効果

ワーク・ライフ・バランスは、“働き方の改革”言い換えることができます。この改革により、以下の経営的効果が期待できます。

筋肉質で強い組織へ！

- 従業員のモチベーションアップ
- 優秀な人材の獲得と定着
- 業務改善、生産性の向上
- 多様な人材によるアイデアと業務革新
- 企業イメージの向上

男女共同参画推進協賛事業所 募集中！

事業所での男女共同参画の推進は、従業員の意欲向上や事業所のイメージアップに繋がります。

協賛事業所への登録をお待ちしています！ 担当：佐賀市男女共同参画課

電話：0952-40-7014 FAX：0952-29-2095

申込用紙は佐賀市ホームページからも取り出せます。

詳しくはこちらまで。 <http://www.city.saga.lg.jp/>



佐賀市男女共同参画推進事業所の取組を紹介しています!! (50音順)

うえはら整骨院 療術業

地域の皆様の笑顔のために、健康、成長、安全に目を向け、スタッフ一同仕事に取り組んでいます。当院は院長以外は女性のみの職場です。育児休暇の取得、学校や地域行事に参加しやすい職場づくりに励んでいます。スタッフやその家族に感謝し、これからも働きやすい職場づくりをめざしていきたいと思います。



セゾン自動車火災保険株式会社 佐賀サポートセンターグループ 保険業

当センターは、自動車保険のテレビCMでお馴染みの「おとの自動車保険」のコールセンターです。当センターの職員の中には、育児・介護をされている人がおり、、「選べるシフト」と称し、時短勤務など、様々なシフト形態を設けております。また、女性が多い職場として、女性活躍推進に注力しています。



第1弾

平成28年9月11日(日) こい♡さがしIN 巨石パーク 開催

フルーツバスケットで緊張をほぐし、道の駅 大和 そよかぜ館 でバーベキューをしてその後、巨石パークの散策をしました!!(36名参加、カップル成立4組)

第2弾

平成28年11月13日(日) こい♡さがしIN 西山田農園 開催

男女1名ずつのペアでそば打ち体験、自分たちが打ったそばを昼食として食べ、その後みかん狩りをして秋を満喫しました!!(34名参加、カップル成立3組)

第3弾

平成29年2月12日(日) こい♡さがし IN スポーツパーク川副 開催

チームワークが肝心のフラフープゲームをした後は、男女ペアでニュースポーツのミニバドミントンをして交流を深めていただきました!!(28名参加、カップル成立3組)

参加者の声



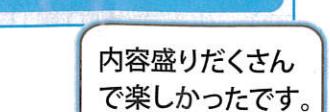
みかん狩り体験&食べ放題



イベントの様子
(一部加工しています)



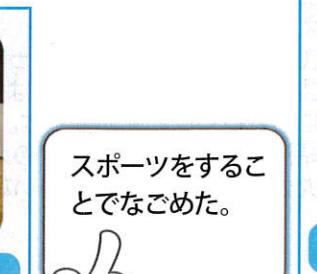
バーベキューで会話も弾みます



自然体で接する
ことができた。



内容盛りだくさん
で楽しかったです。



ミニバドミントン大会



寒さも吹き飛ぶ真剣勝負

『日本女性会議2016秋田』参加報告

平成28年10月28日、29日に秋田県秋田市で「日本女性会議2016秋田」が開催されました。今回のテーマは、「みつめてみとめてあなたと私～多様性（ダイバーシティ）とは～」。さまざまな思いや考え方の違いを尊重して受け入れ、性別や年齢、職業、国籍、障がいなどをこえて、一人ひとりが安心してありたい姿でいられる、多様性を認める社会をつくるため、今、ここから行動したいという思いが込められていました。今回、市民代表として参加した諸永さんと男女共同参画課福田の報告です。

報告①

**分科会：女性の活躍を進めるために
必要なこと、困難なこと**
～自分も相手も大切にするアサーティブなコミュニケーション～

アサーティブとは、自分も相手も大切にするコミュニケーションのことです。これを身につけることによって、職場や地域、家庭においてよりよい人間関係を築くことができます。

人の言動は大きく3つに分類されます。

- ①攻撃的（自分中心で相手を認めない）
- ②非主張的（自分を出さない、抑える）
- ③アサーティブネス（自分も他者も尊重）

アサーティブネスの視点から女性の社会的活躍に
必要なポイント

- ①男女対等の意識を持つ。
- ②自分の個性（感性・価値観・ライフスタイル）を尊重する。
- ③非主張的、受動的な言動から、能動的な言動へ。
自発的な行動、主体的・自己責任能力を養う。
- ④女性の社会的な活躍（新しい場を）切り拓く勇気。
- ⑤男性社会の中で、協働していくコミュニケーション力をつける。

自分の思いを伝える事は難しいことだと思います。日々私も仕事や家庭で思うことですが、自分の思いを素直に、丁寧に、気負わず、ひるまずに伝えること。表情や言い方で相手への伝わり方は変わってきます。身近なほどつい強い口調で話してしまいがちですが、私はこう思うんだ。こう感じるんだとアイメッセージで話すことで、自分も相手も気持ち良くコミュニケーションをとることができると学ぶことができました。

（諸永　由美）

編|集|後|記

LGBTをテーマにした女・男フォーラムでは、多くの方が参加され、関心の高さがうかがえました。

市内で暮らしたり働いているすべての皆さんにとって、生きやすい佐賀市にしていくためには、男女に限らない、「性は多様、みんな違っていい」をあたりまえにしていくことも必要です。

一言メッセージの受賞作品にあったような、感謝のメッセージをお互いに送り合って、あたたかい佐賀市になればいいなと感じました。

編集委員 今町 真由美・草場 栄美・中溝 末大
平川 恵里・諸永 由美

※編集委員は、市民の方にご協力いただいております。

報告②

**分科会：イクボスで企業が変わる・社会が変わる！
～少子化・女性活躍時代におけるイクボス式マネジメントのすすめ～**

「イクボス」とは、職場で共に働く部下のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の両立）を考え、キャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司（経営者・管理職）のことを言います。

部下や自身の仕事と家庭の両立に配慮しながら、成果も上げる「イクボス式マネジメント」の実践を巡り、活発に意見が交わされました。

【日本企業が抱える二大課題】

- ・長時間労働⇒健康的でない。家族を大事にしない。
- ・業務の属人化⇒健康と家庭を破壊する。

これから求められる働き方は⇒「ワークスマート」

- ・短い時間で高い価値を生む。生産性の高さを重視。

【イクボスはまず何をすべきか？】

- ・意識改革
- ・業務改善
- ・ワーク・ライフ・バランス

できない理由ばかり言ってないで、どうすればできるかを考えることが必要である。

今後、介護などの制約社員が増加するなかで、男女ともにいきいきと働いていくためには、「イクボス」の存在が欠かせないものになると思いました。

（福田　淳）



「ぱすぽーと」に関する ご意見・ご感想をお寄せください

発行

佐賀市 企画調整部 男女共同参画課
〒840-8501 佐賀市栄町1番1号
[TEL]0952-40-7014
[FAX]0952-29-2095
[URL]<http://www.city.saga.lg.jp/>
(佐賀市HP)
[E-mail]danjokyodo@city.saga.lg.jp